

地元産の手料理に舌鼓

町婦人会料理講習会

3月24日、町公民館調理室で町婦人会（富田セツコ会長）主催の米消費拡大料理講習会が行われました。

今回は、田上由美子先生の指導により、地元産の食材にこだわって、「混ぜご飯」「姫万十」「鶏南蛮」「鶏唐揚げ」「ほうれん草とモヤシの胡麻和え」「カリカリベーコンのサラダ」「苺のムース」「果物の盛り合わせ」を作りました。

試食会は、町公民館講堂を手作りの温かみのあるレストランのように設営して、バイキングスタイルで行いました。招待された住永町長、各校区の区長会長は、楽しみながら思い思いに料理を皿に盛り、笑顔で舌鼓を打っていました。



所狭しと並ぶ料理はどれも美味しそうで迷ってしまいます

▼ホタルのえさとなるカワニナ



▲育てたホタルの幼虫を放流する子どもたち

ホタルの飛翔を願って

飯野小学校

3月17日、飯野小学校で、ホタルの放流が行われました。これは、益城町農地・水・環境保全向上対策事業の一つで、砥川地域資源保全チームと飯野小学校が協力して取り組んでいるものです。

今回は、同校の3・4年生が総合活動授業の中で、学校で育てていたホタルの幼虫、すみかとなる石灰石とカワニナを放流しました。今後、約50日間観察し、生態系を学びます。子どもたちは、「大きくなってきれいな光をだしてほしい」とホタルの飛翔を今か今かと待ち望んでいました。近くの岩戸川でも5月下旬には数千匹のホタルの舞いを見ることができます。

ゲートボールで全国大会へ

町津森クラブ

3月5日、熊本県G B協会市町村対抗大会（全52チーム）が県運動公園で行われ、見事、本町の津森クラブが県の頂点に輝き、5月29日、30日に長野市で行われる第25回全国選抜ゲートボール大会に出場することになりました。

同チームは、女性だけの選手で構成されており、役場を訪れた町津森協会会長の前田秋雄さんたちは「津森の人は、結婚したらすぐにゲートボールを始めるから、皆仲良く、まとまりが良い。益城はゲートボール人口が多く、レベルも上がってきている」と優勝の喜びを語っていました。



前列右から森本さん、水口さん、吉川さん、矢嶋監督、中村さん、坂野さん、前田会長



前列右から増田くん、山田くん、本田くん、藤澤くん、田辺コーチ

8人制サッカーで九州大会へ

FC ESPACIO熊本

2月20日、大津町運動公園で開催された第31回熊本県少年サッカー新人大会で、FC ESPACIO熊本（田辺洋平コーチ）が準優勝に輝き、3月27、28日に大分市で開催される九州大会に出場することが決まりました。（各県2チーム、開催地追加枠4チームの全20チーム出場）

3月18日に役場を訪れた子どもたちは、住永町長の激励を受け、副キャプテンの山田凌大くん（市ノ後）は「今までの練習の成果を活かして、しっかり頑張りたい」と次の試合への意気込みを見せていました。